

令和6年度補正予算の概要

(第1号)

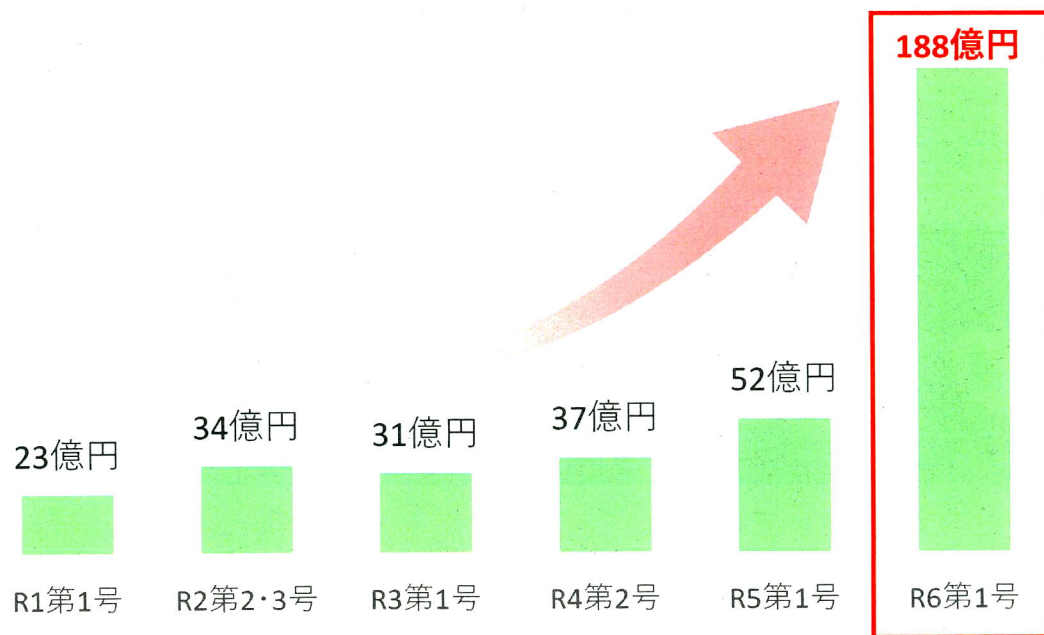
1. 補正予算の注目ポイント
2. 補正予算の内訳

最高裁判所事務総局経理局主計課

1. 補正予算の注目ポイント

▶ 補正予算（物件費）の大幅増額

- ✓ 補正予算とは、予算作成後の事情の変更によって、その予算に不足を生じた場合、また予算の内容を変える必要が生じた場合に、出来上がった予算を変更する予算のこと（財務省HPより）で、裁判所においても、例年、喫緊の課題に対応するのに必要となる予算を計上しています。
- ✓ 令和6年度補正予算（第1号）（=令和6年度当初予算を変更する予算）では、裁判手続等のデジタル化などを中心とした最優先の重要課題に対応していくための予算を計上しており、物件費の補正予算額は昨年度の3.5倍以上となっています。



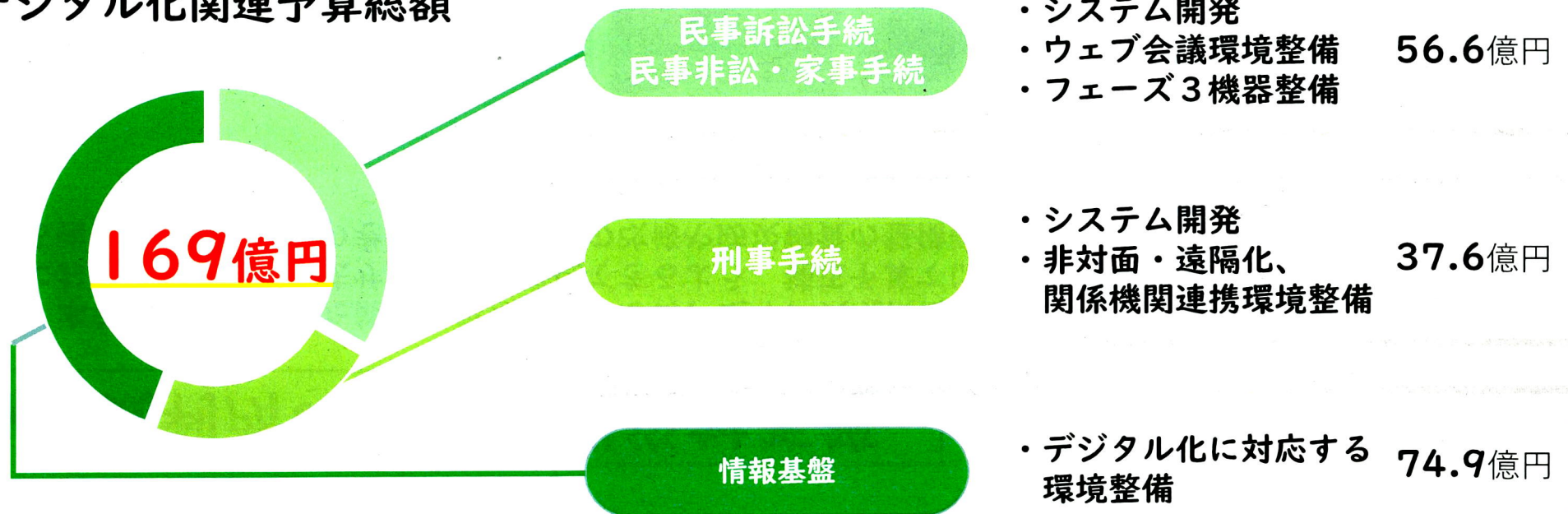
※ このほかに、補正予算では、人事院勧告などに対応するために必要となる人件費予算も計上しています。

2. 補正予算の内訳①

▶ 裁判手続等デジタル化関連予算

- ✓ 民事訴訟を皮切りに、各裁判分野でデジタル化の本格的な運用を開始することが予定されており、スピード感をもってシステム開発等を進めていくことが喫緊の課題となっています。補正予算では、システム開発、ウェブ会議を利用した手続のための機器やフェーズ3実施のための機器の整備、オールデジタルによる裁判手続を支える安定的な情報通信基盤の整備のための経費を計上しています。

デジタル化関連予算総額

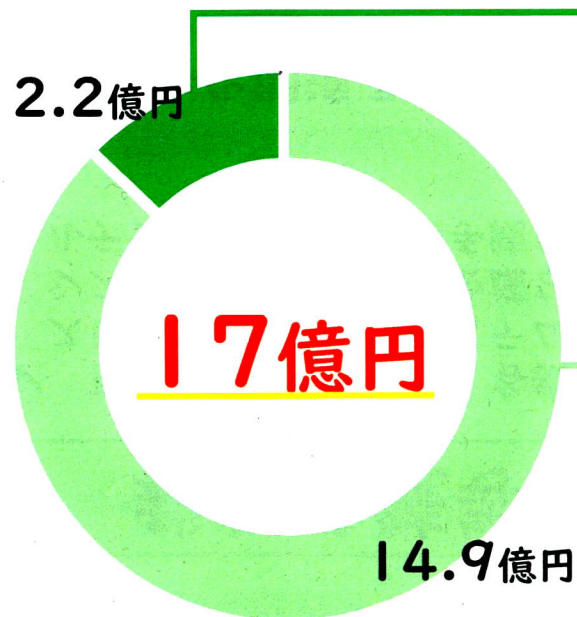


※四捨五入等の理由により、端数において計数が合致しない場合がある。

2. 補正予算の内訳②

▶ 裁判所の防災・減災対策等

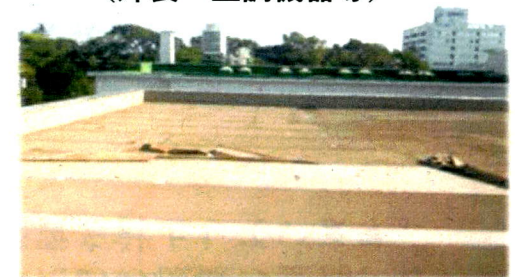
- ✓ 本年1月に発生した能登半島地震をはじめ、近年、大規模自然災害が増加傾向にあります。災害時においても必要な司法サービスを提供できるよう、補正予算では、業務継続確保に向けた態勢の更なる強化のため、全国の老朽化した設備の改修や防災物資の整備等の経費を計上しています。



防災用品の整備



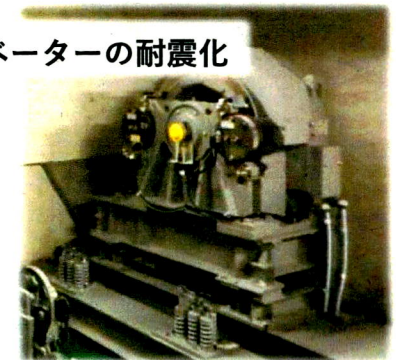
機能的劣化に関する改修
(外装・空調機器等)



非常用設備の更新



エレベーターの耐震化



※四捨五入等の理由により、端数において計数が合致しない場合がある。

2. 補正予算の内訳③

▶ 家庭裁判所の充実強化

- ✓ 離婚後の親権制度の見直しをはじめとする改正家族法が令和8年5月までに施行される予定となっており、短期間で改正法施行に向けた準備を様々な面から進めて行く必要があります。今回の補正予算では、手続利用者向けの情報提供用DVDの改正法対応改定や、家事事件関係の研修をはじめとした裁判官研修の充実のための司法研修所の改修工事のための経費を計上し、物的環境の側面から準備を進めていきます。

